

ビクトリア州（オーストラリア）における教育

— 就学前教育と Preparatory Year（5歳児）に焦点を当てて —

前メルボルン日本人学校 教諭

大阪府柏原市立堅下小学校 教諭 小室 吉 昭

キーワード：Victorian Essential Learning Standards (VELS)，教育課程，検定教科書，就学前教育

1. はじめに

メルボルン日本人学校では、日本の学習指導要領に基づき、教育課程が組まれ実践されている。教科書は検定教科書を使い、ESL (English as a Second Language)・英語の授業を加え日本の標準授業日数・時数よりも上回る授業をしている。

しかし、ビクトリア州の学校は、義務教育期間は6歳から17歳までとほぼ日本と同等であるが、授業時間、教育課程などは、各学校の裁量に任されている。特に検定教科書はなく、教師独自が市販の教材から選択し、開発を行い授業を進めていく。

そこで、本調査報告では、ビクトリア州の教育現場でどのような教育が行われているかを見てみたいと思い研究調査を進めた。

2. Victorian Essential Learning Standards (VELS)

オーストラリアは連邦州制度を採用していることから、教育についても各州教育省が、カリキュラム・スタンダード・フレームワークなどと呼ばれる教育の標準規格を作っている。ビクトリア州では、Victorian Essential Learning Standards (以下VELS) といわれる、ビクトリア州独自のカリキュラムを作っている。VELSは、Prep (5歳児) からYear10 (高校1年生) までを各レベル (6段階) に分け、①学習内容、②達成目標、③達成度を測る具体的指標の3点について明記している。Prepとは、Preparatory Yearのことで、小学校 (Primary School) に併設された準備学級のことである。PrepはVELSの中で最も初期段階 (Level 1) を基準にしている。VELS (Standard) は学習領域を①身体的、個人的・社会的な学びの領域、②学問に基づいた学びの領域、③学際的な学びの領域の3つに分類し、さらにそれらを細かく分類している。

| Victorian Essential Learning Standards – Standards – Level 1 | | |
|--|--|--|
| Physical, Personal and Social Learning strand | | |
| Health and Physical Education | | |
| Movement and physical activity At Level 1, students perform basic motor skills and movement patterns, with or without equipment, in a range of environments. They regularly engage in periods of moderate to vigorous physical activity. They use simple vocabulary to describe movement, the physical responses of their bodies to activity and their feelings about participation in physical activity. When participating in movement and physical activities, they follow rules and procedures and share equipment and space safely. | | Health knowledge and promotion Standards for this dimension are introduced at Level 3. |
| Interpersonal Development At this level standards are not organised by dimensions. At Level 1, students identify the qualities of a friend and demonstrate care for other students. They contribute to the development of positive social relationships in a range of contexts. They use appropriate language and actions when dealing with conflict. Students describe basic skills required to work cooperatively in groups. | | |
| Personal Learning Standards are introduced at Level 3. See learning focus statements for advice on learning experiences that should be included at this level. | | |
| Civics and Citizenship Standards are introduced at Level 3. See learning focus statements for advice on learning experiences that should be included at this level. | | |
| Discipline-based Learning strand | | |
| The Arts | | |
| Creating and making At Level 1, students make and share performing and visual arts works that communicate observations, personal ideas, feelings and experiences. They explore and, with guidance, use a variety of arts elements (on their own or in combination), skills, techniques and processes, media, materials, equipment and technologies in a range of arts forms. They talk about aspects of their own arts works, and arts works and events in their community. | | Exploring and responding Standards for this dimension are introduced at Level 3. |
| English | | |
| Reading At Level 1, students match print and spoken text in their immediate environment. They recognise how sounds are represented alphabetically and identify some sound-letter relationships. They read aloud simple print and electronic texts that include some frequently used words and predominantly oral language structures. They read from left to right with return sweep, and from top to bottom. They use title, illustrations and knowledge of a text topic to predict meaning. They use context and information about words, letters, combinations of letters and the sounds associated with them to make meaning, and use illustrations to extend meaning. | Writing At Level 1, students write personal recounts and simple texts about familiar topics to convey ideas or messages. In their writing, they use conventional letters, groups of letters, and simple punctuation such as full stops and capital letters. Students are aware of the sound system and the relationships between letters and sounds in words when spelling. They form letters correctly, and use a range of writing implements and software. | Speaking and listening At Level 1, students use spoken language appropriately in a variety of classroom contexts. They ask and answer simple questions for information and clarification, contribute relevant ideas during class or group discussion, and follow simple instructions. They listen to and produce brief spoken texts that deal with familiar ideas and information. They sequence main events and ideas coherently in speech, and speak at an appropriate volume and pace for listeners' needs. They self-correct by rephrasing a statement or question when meaning is not clear. |

© Victorian Curriculum and Assessment Authority – January 2008

For more information about the VELS visit <http://vels.vcaa.vic.edu.au>

- ①身体的、個人的・社会的な学びの領域 – 保健体育（健康に関する知識とその推進）・対人関係の開発
個の学び・社会性に関すること
- ②学問に基づいた学びの領域 – 芸術・英語（読み・書き・話すこと・聞くこと）・人間性に関すること
英語以外の言語・算数（数・空間・測定・数学的な思考・構造）・科学
- ③学際的な学びの領域 – 伝達能力・創造性と科学技術・情報通信技術・思考プロセス

3. 訪問調査

(1) Bruthen Street Kindergarten

Bruthen Street Kindergarten（以下BSK）は、グレンアイラ市管轄の公立の幼稚園である。3歳児、4歳児を対象とし、1年を4ターム制（1月始まり）で、Prep前教育施設として位置付けられている。4歳児クラスは、月曜日（12：45～3：45）、火曜日（8：45～11：45）木曜日（8：45～1：45）の週3日の登園日が設定されている。日本の幼稚園と違い、学区制を引いていないため、保護者は自分たちの教育方針にあった幼稚園を選択することができる。

| |
|---|
| <p style="text-align: center;">時 程（8：45～1：45）</p> <p>8：45 登 園</p> <p>9：10 朝の会</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">活動プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北京オリンピックについて オリンピックまでの日数 オーストラリアのフラッグ作成 ・体について 身長、体重など人との違い ・誕生日のお祝い ・教室遊び <p>10：35 フルーツタイム</p> <p>10：55 外遊び①</p> <p>12：00 ランチタイム</p> <p>12：30 外遊び②</p> <p>1：30 帰りの会</p> <p>1：45 下 園</p> |
|---|

BSKの4歳児クラスの幼児数は21名であった。それに対する教師数は主担1名、アシスタント1名の計2名であるが、日により保護者がDUTY ROSTER（保護者による見守り）で入ることがある。年間及び、一日のプログラムは、主担教師が作成し、掲示板に掲示する。訪問時は、北京オリンピックが開催される年であったために、北京オリンピックの事を中心にプログラムが作成されていた。



北京オリンピックまで後何日かな

①朝のプログラム（北京オリンピック・体について）

朝のプログラムでは、北京オリンピック、体の大きさの違いについて学習した。また、言葉で箱の中身を説明し、幼児がそれを答えるゲームも行った。

②誕生日のお祝い

誕生日のお祝いの前に子どもたちを集め、簡単なレクリエーションを行なった。誕生日会では、歌を歌い、年齢の数え方について学習した。日本では当然のように指導されている体育座り（三角座り）だが、ここではあくぐらをかくように指導される。

③教室遊び

子どもたちは、自分たちでやりたいことを選び、やりたいことをする。片付けも自分たちでし、のびのびと活動していた。これらは、PLAY BASED LEARNING という概念の元に進められているということであった。

④フルーツタイム（スナックタイム）

オーストラリアでは、午前中におやつやフルーツを食べる時間がある。

⑤外遊び

中遊びと同様に自分たちで遊びを選ぶ。遊具は、その週ごとのテーマに応じて変えている。外遊び中は、アシスタントが巡視、主担教師は教室の片付け及び準備をする。

⑥ランチタイム

ランチタイムになると、順番に並んで名前の呼ばれた子から洗面所へ行き手を洗う。教師はランチタイム中、子どもたちの間を巡視。

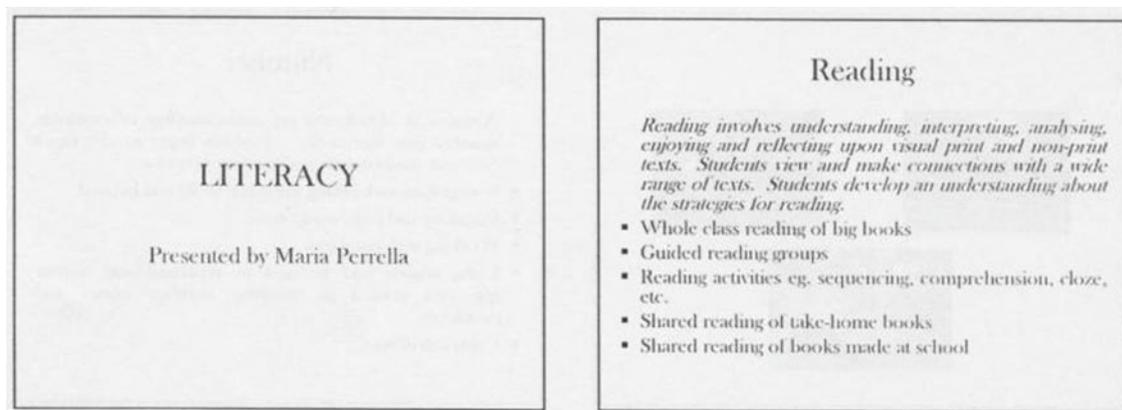
1つのテーマ（このときは北京オリンピック）を設定し、北京オリンピック開催まで日数を数えさせることで数の教え方を学習させたり、フラッグ作りを通して、国の概念を理解させるなど、Integrated Curriculum と呼ばれる「総合的学習プログラム」が取り入れられていた。また、遠足なども「体」というテーマの学習内容に合わせて、近くの医大病院を見学しに行くなど、4歳児には比較的高度な内容かと思われるものもプログラムされていた。

(2) Huntingdale Primary School

Huntingdale Primary School（以下HPS）は、グレンアイラ市管轄の公立小学校の附属施設である。5歳児を対象とし、1年を4ターム制（1月始まり）で、小学校前教育施設として位置付けられている。ビクトリア州のプレップは（一部の学校をのぞき）学区制がひかれていない。そのため、保護者は各学校が行う説明会に参加し、家庭の教育方針に沿った学校を選択することができる。入学後、方針が合わない場合には、すぐに転校をするようなこともある。HPSの保護者説明会と授業の様子について報告する。

①説明会の様子

説明会は、一般的に夜に行われる。登校時間や持ち物など学校生活の基本的なことから、教育カリキュラムの内容まで説明していた。「読むこと」に関しては、本に限らず、電話帳（数字の学習）、手紙、広告、地図など何でも読む機会を与えて欲しいということであった。最も重要なことは家族と一緒に本読みをすることであると説明していた。説明後の質問では、「授業中どのように、どのような教具を使って指導するのか」という具体的な質問も出ていた。教師は、それらの質問に的確に答えていた。



説明会で配布された資料の一部。担任がスライドに映しながら説明していく。

②授業の様子

授業は、授業中にドリンクを飲むことが許されているなど比較的和やかな雰囲気で行われていた。挙手は人差し指を突き出し、教師をMr. (Ms.) ～と読む。教室の黒板はホワイトボードが使われ、壁面には様々な掲示物が張り巡らされており、カラフルな印象を受けた。授業内容によっては机を使わずに、床に座って授業を受ける。授業後、教材室を見せてもらったが、教材室には、教科書はなく膨大な量の手作り教材があった。



4. おわりに

本調査報告では、「ビクトリア州（オーストラリア）における教育」というテーマで研究調査を進めてきた。

子どもの頃から、教科書を使い、イスに座り前を向き、教科ごとに決められた内容の授業を受けてきた私にとって、ビクトリア州の教育を知ったときは衝撃的であった。検定教科書がない分、授業は教師の力量によるところが非常に大きく、学区制がないために公立であっても各学校は独自の特色を出し生徒を集める。1学級当たり20人前後の生徒数にはゆとりを感じる。学習規律に関しては、日本よりもおおらかな感じを受けるが、規律を守らない生徒に対して、段階に応じた指導を明確にし徹底している。どちらが良い悪いではなく、日本以外の国で行われている教育を実際に目にしたことは、今後の教師生活において非常に有意義であったと思う。